中学３年　国語科　教材別テスト⑪「初恋」

教材別リメイク版　中学３年　国語　／　近代の詩「初恋」

３年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．７）までです。解答は解答用紙①②（Ｐ．８～Ｐ．１０）に書きなさい。
- 大問四は、**教科書『国語３』（光村図書）の「初恋」を開いて**解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、①～⑩は漢字の読みをひらがなに直し、⑪～⑳はひらがなを漢字に直して書きなさい。ただし、**⑧⑨⑩⑲⑳は送りがなも必要**なので、必ず書くこと。　１点×20＝20点

① 簡潔な説明。
② 恋慕の情をうたう。
③ 叙情詩を味わう。
④ 詩を朗詠する。
⑤ 繊細な感性。
⑥ 近代文学の系譜。
⑦ 浪漫的な作風。
⑧ 秋の実を愛でる。
⑨ 人を慕う心。
⑩ 夕日が空を彩る。
⑪ 平和のしょうちょう。
⑫ いんりつが美しい。
⑬ 深いよいんが残る。
⑭ 美しいこうけい。
⑮ せいじゅんな心。
⑯ ゆうがなしぐさ。
⑰ 音楽にとうすいする。
⑱ きょうしゅうをさそう。
⑲ こころよい風がふく。
⑳ うるわしい姿。

二　**詩の形式と歴史的仮名遣い**について、次の問いに答えなさい。　2点×9＝18点

(1)　「初恋」の詩の形式としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　文語自由詩　　イ　文語定型詩　　ウ　口語自由詩　　エ　口語定型詩

(2)　**口語自由詩**の説明としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　行数が必ず四行ときまっている詩。　　イ　漢字だけで書かれている詩。

ウ　今の話し言葉で書かれ、音数のきまりをもたない詩。　エ　季語を入れるきまりがある詩。

(3)　「初恋」の各行の音数を数え、この詩の音数律（音数のくり返しのきまり）の名前を、**漢字三字**で書きなさい。

(4)　「初恋」は、いくつの**連**（聯）から成り立っているか。**漢数字**で答えなさい。

(5)　「花ある君と思ひけり」の「けり」は、文語の助動詞である。その文法的な意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　打消し　　イ　推量　　ウ　過去・詠嘆　　エ　使役

(6)　「あげ初めし前髪」「あたへし」の「し」は、ある文語の助動詞が変化した形である。その助動詞の**言い切りの形（終止形）**を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　き　　イ　ぬ　　ウ　たり　　エ　り

(7)　次の歴史的仮名遣いの語を、**現代仮名遣い（ひらがな）**に直して書きなさい。

①　思ひけり　　②　おのづから

(8)　次の歴史的仮名遣いの語を、**現代仮名遣い（ひらがな）**に直して書きなさい。

①　たまふ　　②　ゆゑ

(9)　「問ひたまふ」の「たまふ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　〜なさる（尊敬）　　イ　〜してさしあげる　　ウ　〜したい　　エ　〜ではない

三　**表現技法と文学史**について、次の問いに答えなさい。　［2点×6＝12点］

(1)　「〜のようだ」「〜みたいだ」などの言葉を**使わずに**たとえる表現技法の名前を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　直喩（明喩）　イ　隠喩（暗喩）　ウ　擬人法　エ　体言止め

(2)　次の①〜③の――線部に使われている表現技法の名前を、後のア〜カから一つずつ選び、記号で答えなさい。【完答】

① 風が泣いている。　② 美しい、あの日の林檎畠は。　③ 林檎畠の細道。

ア　直喩　イ　隠喩　ウ　擬人法　エ　倒置　オ　対句　カ　体言止め

(3)　同じ言葉や似た言葉をくり返して、調子を整えたり印象を強めたりする技法の名前を、**漢字二字**で書きなさい。

(4)　「初恋」の作者**島崎藤村**について、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　江戸時代の俳人で、紀行文も書いた。　イ　明治から昭和にかけて活躍した詩人・小説家である。

ウ　平安時代の歌人で、和歌集を編んだ。　エ　大正時代の童話作家で、詩は書かなかった。

(5)　「初恋」が収められている島崎藤村の**第一詩集**について、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　『若菜集』。明治三十年に刊行され、日本の近代詩の新しい出発点となった。

イ　『若菜集』。昭和初期に刊行され、自然主義文学の代表とされた。

ウ　『落梅集』。『若菜集』よりも前に刊行された詩集である。

エ　『家』。藤村が最初に出した詩集である。

(6)　次のうち、**島崎藤村が後に書いた小説**と、**藤村とほぼ同じ時期に活躍した詩人**の組み合わせとして正しいものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　小説『破戒』『夜明け前』 ― 詩人　土井晩翠・北村透谷

イ　小説『坊っちゃん』『草枕』 ― 詩人　土井晩翠・北村透谷

ウ　小説『破戒』『夜明け前』 ― 詩人　松尾芭蕉・与謝蕪村

エ　小説『羅生門』『鼻』 ― 詩人　高村光太郎・宮沢賢治

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語３』（光村図書）の「初恋」を開いて、後の問いに答えなさい。（参考として、下に詩の全文を示す。）　50点

初恋　　島崎藤村

まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人こひ初めしはじめなり

わがこころなきためいきの
その髪の毛にかかるとき
たのしき恋の盃を
君が情に酌みしかな

林檎畠の樹の下に
おのづからなる細道は
誰が踏みそめしかたみぞと
問ひたまふこそこひしけれ

※　島崎藤村「初恋」は、著作権の保護期間が満了した作品です。

（１）**第一連**に描かれている場面の説明としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［４点］

ア　林檎の木の下に現れた少女の姿を、「われ」が心にとめている場面。

イ　少女が林檎の実を売っているのを、「われ」が遠くからながめている場面。

ウ　「われ」が少女に別れを告げ、林檎の木の下を立ち去る場面。

エ　少女が「われ」に手紙をわたし、返事を待っている場面。

（２）「まだあげ初めし前髪」という表現から読み取れることとしてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［３点］

ア　少女がすでに結婚し、落ち着いた暮らしをしていること。

イ　少女が髪を結い上げ始めたばかりで、子どもから大人になりかけた年ごろであること。

ウ　少女が髪型にまったく関心をもっていないこと。

エ　少女が「われ」よりずっと年上であること。

四　（つづき）

初恋　　島崎藤村

まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人こひ初めしはじめなり

わがこころなきためいきの
その髪の毛にかかるとき
たのしき恋の盃を
君が情に酌みしかな

林檎畠の樹の下に
おのづからなる細道は
誰が踏みそめしかたみぞと
問ひたまふこそこひしけれ

※　島崎藤村「初恋」は、著作権の保護期間が満了した作品です。

（3）「花ある君」とは、どのような意味か。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　花をたくさん育てている人。　　イ　花を売って生活している人。

ウ　花櫛をさした、花のように美しくかがやく人。　　エ　花の名前を知らない人。

（4）**第二連**の「人こひ初めしはじめなり」は、どのようなことを告げているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　少女が「われ」に恋をあきらめるよう告げたということ。

イ　「われ」が、人を恋するということを初めて知った、その始まりであったということ。

ウ　「われ」が、もう何度も恋をしてきたということ。

エ　二人の恋が、人々に知られてしまったということ。

（5）**第二連**で、少女が「われ」に林檎をわたしたときの様子を表した言葉を、詩の中から**そのまま書き抜きなさい**（十一字）。［3点］

四　（つづき）

初恋　　島崎藤村

まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人こひ初めしはじめなり

わがこころなきためいきの
その髪の毛にかかるとき
たのしき恋の盃を
君が情に酌みしかな

林檎畠の樹の下に
おのづからなる細道は
誰が踏みそめしかたみぞと
問ひたまふこそこひしけれ

※　島崎藤村「初恋」は、著作権の保護期間が満了した作品です。

（6）**第三連**に流れている二人の時間の様子として、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　けんかをして気まずい、はりつめた時間。　イ　別れを前にした、悲しくつらい時間。
ウ　寄り添い、酔うような甘やかで満ち足りた時間。　エ　早く帰らなければとあせる、落ち着かない時間。

（7）**第四連**の「おのづからなる細道」は、どのようにしてできた道だと考えられるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　村の人々が畠仕事のために作った道。　イ　二人が通い続けたために、いつのまにかできた道。
ウ　風や雨によってけずられてできた道。　エ　もともと林檎畠にあった大きな道。

（8）この詩は、各連が、ある**時間の流れ**にしたがって並べられている。その順序としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　思い出　→　出会い　→　恋の自覚　→　親密

イ　出会い　→　恋の自覚　→　親密　→　思い出

ウ　恋の自覚　→　出会い　→　思い出　→　親密

エ　親密　→　思い出　→　出会い　→　恋の自覚

四　（つづき）

初恋　　島崎藤村

まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人こひ初めしはじめなり

わがこころなきためいきの
その髪の毛にかかるとき
たのしき恋の盃を
君が情に酌みしかな

林檎畠の樹の下に
おのづからなる細道は
誰が踏みそめしかたみぞと
問ひたまふこそこひしけれ

※　島崎藤村「初恋」は、著作権の保護期間が満了した作品です。

（9）「薄紅の秋の実」（林檎）は、この詩の中でくり返し用いられている。それは何を表すものとしてはたらいているか。「**〜こと**。」の形で書きなさい。［5点］

（10）最終行「問ひたまふこそ**こひしけれ**」には、「われ」のどのような気持ちがこめられているか。「**〜気持ち**。」の形で書きなさい。［6点］

（11）この詩の**主題**を、**二十五字以上四十字以内**で書きなさい。［6点］

（12）この詩が**文語（昔の書き言葉）**で書かれていることには、どのような効果があると考えるか。あなたの考えを**四十字以上五十字以内**で書きなさい。［6点］

解答用紙①　知識・技能

教材別リメイク版　中学３年　国語　／　教材別テスト⑪「初恋」

３年	組	番	氏名	

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	

一（つづき）	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

解答用紙①（つづき）　知識・技能

教材別リメイク版　中学３年　国語　／　教材別テスト⑪「初恋」

３年	組	番	氏名	

二　詩の形式と歴史的仮名遣い（２点×９）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)①		(7)②	
	(8)①		(8)②	
	(9)			

三　表現技法と文学史（２点×６）	(1)			
	(2)①		(2)②	
	(2)③		(3)	
	(4)		(5)	
	(6)			

※　二(7)(8)は①②の両方、三(2)は①②③の全部が正しく書けて得点になります（完答）。

解答用紙②　思考・判断・表現

教材別リメイク版　中学３年　国語　／　教材別テスト⑪「初恋」

3年　　組　　番　　氏名

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「初恋」（島崎藤村）の読解（50点）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)			
	(6)		(7)	
	(8)			
	(9)			
	(10)			
	(11)			
	(12)			

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（９）は「～こと。」、（10）は「～気持ち。」の形で書くこと。（11）は25～40字、（12）は40～50字です。